



「できた！」

No. 1 2

文責 校長 木下和敏

明日から夏休み「夢を磨く夏休みに！」

今日で1学期が終了しました。1学期は新型コロナの感染や台風接近による臨時休業などがありました。多くの制限を受ける中でしたが、子どもたちなりに集団のルールやマナーを守った生活を心掛けることができたと思います。1学期の学びを夏休みの生活に生かし、楽しい夏休みにしてほしいと思います。今日の終業式では、夏休みに頑張してほしいことを中心に話をしました。

【令和4年度 第1学期終業式 校長講話（一部抜粋）】

明日からは、みなさんが楽しみにしている夏休みとなります。是非、「たくさん遊ぶ」「たくさん働く」「たくさん学ぶ」夏休みにしてください。

「たくさん遊ぶ」夏休みにするためには、友達との遊び方を工夫してください。家の中でゲームなどをして過ごすだけではいけません。外で太陽の光を適度に受けながら、汗をかいて遊んでほしいと思います。太陽には不思議な力があり、光を浴びることで、体が丈夫になり気持ちも明るくなるそうです。生活のリズムを作るのも太陽の光だと言われます。友達にどんどん声を掛けて、たくさん友達と仲良しになり、遊んでほしいと思います。人が集まる場所ではマスクをつけること、熱中症にかからないように帽子をかぶり、水分をとることなど気を付けながら遊んでください。

「たくさん働く」夏休みにするためには、お家でのお仕事を決めて、毎日、忘れずに取り組んでください。どんなお仕事をやるかは、お家の人とよく相談してほしいと思います。食事の準備や洗濯もの、掃除に花壇の水やりなど、いつもはお家の方にいただいていることを、この夏休みの間だけでもがんばってみましょう。仕事やお手伝いをすると、働くことや世の中のことがよくわかるようになってきます。仕事を続けることはきついこともありますが、一生懸命続けることで得られる喜びもたくさんあります。自分がチャレンジできるお仕事やお手伝いを決めて頑張ってください。

「たくさん学ぶ」夏休みにするために、まずは担任の先生からいただいた課題に一生懸命取り組みましょう。また、長い休みだからこそできる自由研究にも取り組んでみましょう。ここで、ある子どもが疑問を持ち、自由研究として取り組んでみたことから、問題を出します。みなさん考えてみてください。ここから先は「ある子ども」は「木下少年」とします。

木下少年からの問題です。「アサガオの花はいつ開くでしょうか。次の三つの中から正しいと思うものを選びましょう。」

「①朝、明るくなってから開く。」

「②ちょうど、朝になる時（太陽が昇る時）に開く。」

「③朝とは関係がなく、決まった時間に開く。」

木下少年は実際に調べてみました。最初、朝早く起きてアサガオの花の観察をしようとしたのですが、いくら早起きしてもすでに花は開いていました。そこで、夜中に起きて観察してみると、真っ暗にもかかわらずアサガオの花は開いていたのです。木下少年は、朝まで眠らずに花の咲く様子を観察しようと、ベランダに置いたアサガオを部屋の中に入れて、部屋のあかりをつけて観察しました。しかし、その日に限って、朝の6時になっても8時になっても花は開きませんでした。なぜ、アサガオの花は開かなかったと思いますか。木下少年は調べました。そこで分かったことは、アサガオの花は、朝かどうかには関係がなく、太陽が沈んでから10時間後くらいに開くという性質があるということです。このことを見つけた木下少年はアサガオの研究を一生の仕事としたいと思い、大学院でも研究を続けたそうです。自由研究で取り組み始めたことが、自分の未来を描き、夢を磨ききっかけになったというお話です。



みなさんも、是非、お家の方の力を借りながら、自分ができる自由研究や作品作りに取り組みましょう。

次にみなさんと会えるのは8月9日です。長崎で育つ子どもとして、平和な世界を築く思いをもって、平和祈念集會に参加してください。最後に、今年は自然の力の恐ろしさを感じるが多くあります。海でも山でも街中でも、自分の命をしっかり守る行動をとるようにしてください。